

防衛研究所における学術誌『安全保障戦略研究』の創刊について

1. 創刊の目的

防衛研究所においては、これまでも安全保障に関する見解・研究成果の情報発信に努めてまいりましたが、今般、その強化・充実の一環として『防衛研究所紀要』に代わる専門的な学術誌である『安全保障戦略研究』を新たに創刊することとなりました。

『安全保障戦略研究』は、安全保障問題を広く国際関係、法、政治、経済、理論、地域、歴史、技術、心理、情報などの観点から分析した研究を掲載の対象とし、日本における安全保障に関する学術研究の発展及び国民への知識の普及に寄与することを目的としています。

2. 刊行期日

第 1 号を令和 2 年 8 月 3 1 日に刊行し、防衛研究所ホームページに掲載予定。
(年 2 回刊行)

3. 第 1 号の構成

- 『安全保障戦略研究』の創刊に寄せて 河野 太郎
- サイバー空間での規範形成に向けた取組の現状と展望に関する実験的考察
— 自由主義陣営と権威主義陣営が繰り広げる「両性の闘い」に着目して — 原田 有
- 政権交代と日豪関係
— 民主党と労働党政権時代の安全保障協力 — 佐竹 知彦
- 平和構築における自由主義とハイブリッド性 山下 光
- 沿海域作戦に関する米海兵隊作戦コンセプトの展開
— 「前方海軍基地」の「防衛」と「海軍・海兵隊統合 (Naval Integration)」 — 菊地 茂雄
- 危機管理と能力向上における EU・英国関係
— ブレグジット後の欧州の「戦略的自律」の行方 — 田中 亮佑

- 平和作戦における軍事力行使
— 国連中央アフリカ多面的統合安定化ミッション（MINUSCA） — 大西 健
- 機雷の開発と使用に必要な考慮 — 国際法上の観点から — 永福 誠也
- 中国国民党軍の終戦処理 — 対日反攻から接收へ — 藤井 元博
- 【研究ノート】 人工知能技術が核抑止に及ぼす影響 有江 浩一
- 【研究ノート】 在日米国軍事顧問機関に関する研究
— 陸上自衛隊の草創期を中心に — 岩佐 有子
- 創刊の辞 庄司 潤一郎